一般社団法人御坊青年会議所
理事長所信

スローガン　「協挑」～想いを共有し、より良い未来へ～

第５９代理事長　和田俊哉

はじめに

１９６８年に御坊青年会議所が発足して以来、「明るい豊かな社会」の実現を目指し、熱き想いをもった諸先輩方が築いてこられた運動は本年で５８年を迎えます。

本年は、来たる６０周年という節目を見据え、これまで組織を支えてこられた経験豊富なメンバーが卒業される一方で、新たな仲間が数多く加わり、大きな世代交代の時を迎えています。まさに新たな挑戦の機会であり、組織の存在意義を改めて見つめ直す大切な時でもあります。だからこそ、私たち一人ひとりが積極的に関わり合い、互いの力を結集させることで、この「挑戦」を成長へとつなげ、未来へ続く強固な基盤を築いていきたいと考えております。

また、青年会議所の根幹である「奉仕・修練・友情」という三信条は、私たちの活動の原点であり、次世代に確実に受け継いでいくべき大切な財産です。地域への「奉仕」はまちの活性化につながり、メンバー同士が切磋琢磨しながら「修練」を重ねることで一人ひとりが更なる成長を遂げ、そして同じ志を持ち続け共に歩むからこそ「友情」が育まれると確信しております。

これらをふまえ、それぞれの役割を自覚しながら、目的に向かって想いを共有することで、一人では成しえないことも、仲間と共に「協力」することで大きな「挑戦」を生むことができます。新たな時代を担う私たちが、その歩みを止めることなくより良い未来へとつなげてまいりましょう。

会員拡大と育成

昨年度は、会員拡大に向けてメンバー一丸となって取り組み、たくさんの魅力あふれる新たな仲間を迎えることができ、大きな喜びと多くの学びを得ることができました。

青年会議所は、２０歳から４０歳という限られた時間の中で運動を行います。同じ志を持つ仲間だからこそ理解し合い、友情を深め、共に挑戦することで自己成長と地域の発展を実現できます。その積み重ねが活気ある雰囲気を生み、組織としての魅力をさらに高めていきます。

互いを尊重し協力しながら切磋琢磨することで、「入会して良かった」と心から実感できる経験が生まれます。この魅力を新たな仲間に伝え、共に育むことで一人でも多くの仲間を迎え入れ、共に挑戦していきます。その結果、さらに活力ある青年会議所を築いていくと確信しております。

青少年育成とまちづくり

現代の青少年を取り巻く環境は大きく変化しました。かつては公園で友達と遊び、地域の大人と挨拶を交わす日常がありましたが、今ではスマートフォンやゲームなどオンラインでの交流が中心となり、地域の人々との対話が減少しています。その結果、子どもたちが自らの住む地域に魅力を感じにくくなり、健全な成長にも影響を及ぼしかねません。だからこそ、私たち御坊青年会議所にとって青少年の育成は重要な使命です。子どもたちが地域の中で多様な体験を通じて学び、気づき、豊かな人間性や自ら考える力を育むことができる環境を整えることが必要です。リアルな体験は子どもたちの「生きる力」の基盤となり、将来の成長の大きな糧となります。

私たちは、子どもたちの未来の選択肢を広げ、誇りに思える故郷を築くために、地域の皆さまと手を取り合い、持続可能で魅力あるまちづくりの運動を力強く推進してまいります。

次世代へとつながる七夕まつり

七夕まつりは本年度、５０周年という大きな節目を迎えます。始まりは「伝統行事の再発見」を掲げ「環境問題や交通問題等で忘れられつつある七夕祭りを守りたいという想い、そして子どもたちに夢を与え、大人の生活サイクルに同調させられつつある子ども自体の遊びを守らなければならない」という目的からでした。その小さな取り組みは、やがて地域を代表する事業へと成長し、今では地域に欠かせない行事として定着しました。これもひとえに、地域に根差し、世代を超えて想いが受け継がれてきたからこそ、５０年という歴史を重ねることができたのだと考えます。私たちにとって七夕まつりは、単なるお祭りではなく、地域の思いや課題に寄り添いながら歩んできた大切な事業です。そして、未来を担う子どもたちにも、この地域の伝統や仲間と共に楽しむ体験を通じて、故郷への魅力を感じてほしいと願っています。

共感と共鳴を得る広報

これまで御坊青年会議所の活動は、Instagram を通じて発信を重ね、多くの方々に知っていただくことで認知度も着実に高まってきました。しかしながら、ただ発信するだけでは、情報化社会の中で数多くの類似情報に埋もれてしまうことも少なくありません。だからこそ、単なる事業報告にとどまらず、準備段階から開催までのストーリーを発信することで、事業の背景や目的を伝え、共感を得られる広報を強化してまいります。さらに、行政や他団体に当会の活動に共感いただき、賛同の声を広めてもらうことで、第三者からの発信力を高め、より信頼性と拡散力のある広報を実現していきたいと考えます。こうした取り組みにより、御坊青年会議所の活動が地域の方々にとってより身近なものとなり、共感と共鳴の輪が広がっていくことを目指します。

むすびに

私は２０１１年に縁あって御坊・日高地域に移住し、２０１２年に御坊青年会議所に入会しました。当時は右も左もわからない状況で知り合いが増えればうれしいな、くらいの気持ちでしたが、仮入会時に七夕まつりに参加させていただき、たくさんの人で賑わう様子や、それを支える多くのメンバーの姿を目にして、地域を盛り上げる力強い団体であることに衝撃を受けました。その後、様々な役職や事業、周年を経験する中で、多くの人たちとの出会いがあり、それぞれの考え方や想いに触れることができ、仲間と協力して挑むことで大きな成長とかけがえのない財産を得ることができたと確信しております。

２０２６年度のスローガンとして「協挑」～想いを共有し、より良い未来へ～を掲げます。

青年会議所という組織の目的は明るい豊かな社会の実現に向けて、地域の課題を解決することにあります。それに加えて、御坊青年会議所だからこそできること、やるべきことをしっかりと見極め、より良い未来のために想いを共有し、仲間と「協力」しながら共に「挑戦」してまいります。

一人ひとりの想いを力に変え、地域の明るい未来を切り拓いていきましょう。

基本方針

1. 全メンバーで取り組む会員拡大と育成
2. 青少年育成事業の実施とまちづくり
3. 第５０回七夕まつりの実施
4. 共感と共鳴を得る広報活動
5. 例会、事業、各種大会への積極的な参加と協力